

黒田官兵衛ゆかりの地めぐり・妻鹿

姫路城を秀吉にゆづり、官兵衛が居城としたのが妻鹿にあった国府山城。「黒田二十四騎」の一人で、槍の名手で「黒田節」に謳われた猛者・母里太兵衛の生誕地ともいわれています。

105分



1 黒田職隆廟所



2 元宮八幡神社・母里太兵衛生誕の地碑



2 元宮八幡神社



3 荒神社



4 国府山城跡平面図



4 国府山城跡からの眺め



5 屋台の高欄掛に描かれた母里太兵衛



5 妻鹿史料館



4 国府山城跡からの眺め



4 国府山城曲輪跡



6 浄照寺



7 松原八幡神社



7 松原八幡神社



黒田官兵衛ゆかりの地めぐり・妻鹿

105分



姫路城を秀吉にゆずり、官兵衛が居城としたのが妻鹿にあった国府山城。「黒田二十四騎」の一人で、槍の名手で「黒田節」に謳われた猛者・母里太兵衛の生誕地ともいわれています。

案内看板があります

妻鹿へのアクセス

山陽電鉄・山陽姫路駅から妻鹿駅で下車
(普通で神戸方面へ4駅約10分 230円)

1 黒田職隆廟所

天正13年(1585)に国府山城で亡くなった官兵衛の父・職隆の墓所。凝灰岩の五輪塔。国府山より南方にあり地元では「筑前さん」と親しまれています。秀吉は職隆の誠実なことを知り重用し、元旦に家臣たちに盃を与える際にはまず職隆に与え、出陣のときには常に城の留守居を命じたといわれます。

2 元宮八幡神社

今は山上にある御旅山八幡神社の元宮で、黒田二十四騎の一人母里太兵衛の碑が立っています。母里太兵衛は酒豪で福島正則から大杯の酒を飲み干し日本号の槍をせしめ、そのことで有名な民謡黒田節のモデルになった人です。

3 荒神社 (国府山城跡登り口)

奥津彦命・奥津姫命が祀っており、甲山経塚から出土した二仏の泥塔の同范がご神体です。この荒神さんは、かまどの神さまで、拝殿天井には「オコセ」の絵馬が多数奉納されています。境内には目薬の木が植えてあります。

4 国府山城跡

国府山城は元は「太平記」で知られる妻鹿孫三郎の居城でしたが、織田信長が石山本願寺と戦い始めてから毛利水軍の往来が激しくなり、それを監視するために官兵衛の父・職隆が再びこの山に城を構えました。その後秀吉に姫路城を譲ったのち官兵衛はこの城に移りました。山上からは小豆島や賀賀、姫路城、広峰山などが見えます。(城址まで約20分)

5 妻鹿町史料館

「灘のけんか祭り」で使われる屋台や獅子舞などが収められた史料館。展示されている高欄掛には、官兵衛と、黒田二十四騎の一人である母里太兵衛が刺繍で描かれています。土日祝開館 入場無料 TEL079-246-3680

6 浄照寺

官兵衛が松原神社に寄進した鐘楼が、浄照寺の境内に移設されています。

7 松原八幡神社

灘のけんか祭りで有名な神社。羽柴秀吉と別所長治との三木合戦の際、約3000人の勢力を持つ神社に対し両陣営より応援要請がありました。その結果、三木城側は怒り火を放ち灰塵と化した歴史があります。その後、移設を強要した秀吉に官兵衛が由緒ある地として存続を懇願したそうです。また、天正12年(1584)には、官兵衛が拝殿を寄進したと伝えられています。

ほかのよってくだんコースへ

19 御着 タクシーで約7km (料金目安 2,600円)
みどころ/黒田家廟所、御着城址

22 青山 タクシーで約12km (料金目安 4,200円)
みどころ/土器山、青山古戦場跡

官兵衛の第二の故郷と言うべき妻鹿。ここには父職隆の居城国府山城があり、秀吉に姫路城を譲った後、官兵衛が移り住んだのがこの城です。またこの町は官兵衛を支え続けた母里家の所領であり父職隆の廟所もあります。

妻鹿駅にはこんな灯籠が建っているかも!



近くのタクシー会社

師磨交通	0120-351-858
第一交通	0120-490-846
原タクシー	0120-357-272

ちょっとお勉強。

A 播州黒田武士の館

黒田武士のことならすべてがわかると評判の私設展示館。地元歴史家で播磨の黒田武士顕彰会メンバーのコレクションが見られます。事前予約が必要。山陽妻鹿駅より徒歩18分。

姫路市師磨区妻鹿東海町107
TEL079-245-4685 (神澤さん)



B 地元のお好み焼き店

このあたりは家の一角をお店にしたような、小さなお好み焼き店が点在しています。姫路風はだしがきいてやわらかな仕上がりが、うどんとそばの「ちゃんぽん」なども。家庭的で低価格なもうれいところ。

たこの棚 (駅北) 079-245-2433
あめや (駅前) 079-245-1098
えのき (駅南) 079-245-1650

